

2025年度 シラバス(授業内容)

昼間部 1 年 観光科 トラベル・アウトドアコース

1.シラバスとは

シラバスは、授業の内容を予め受講者に知らせるもので、到達目標・使用教材・単位数等が記載されています。
当校の教育理念は「ホスピタリティマインド豊かな社会人の育成」です。ホスピタリティとはお客様をおもてなしすること、心配り・気配り・思いやりを意味します。相手の立場に立って考え、行動できる人間を育成することを念頭にカリキュラム編成をしています。同時に卒業後、即戦力として活躍できるよう専門分野においても基礎・応用からの実践教育を取り入れたカリキュラムとなっています。

2.科目編成(カリキュラム)の概要

科目編成は、共通科目と専門科目です。

全科目が必修科目となり、卒業にはすべての単位取得が必要です。

(1) 共通科目: 人間力を高めること、職業人として必要なビジネス教養を身に付ける科目構成です。

(2) 専門科目: 各科各コースの専門分野に即した科目構成です。



学校法人 中村学園

国際トラベル・ホテル・ブライダル専門学校

2025 年度昼間部 1 年 観光科トラベル・アウトドアコース

進級・卒業基準単位

		1年		2年		卒業 基準単位
		前期	後期	前期	後期	
必修	共通科目	4	3	2	3	12
	専門科目	14	14	15	12	55
合 計		18	17	17	15	67

各期全単位を取得すること。

履修科目・単位一覧

実務経験のある教員による科目

2025年度入学生 観光科 トラベル・アウトドアコース 履修科目・単位一覧(前期13週・後期13週)																															
		1年前期				1年後期				2年前期				2年後期																	
		科目名	区分	講師名	単位	時間数	科目名	区分	講師名	単位	時間数	科目名	区分	講師名	単位	時間数	科目名	区分	講師名	単位	時間数										
共通科目		キャリアデザインⅠ	演		1	26	キャリアデザインⅡ	演		1	26						ビジネスコミュニケーションⅡ	演		1	26										
		ビジネスコミュニケーションⅠ	演		1	26											デジタルスキルⅣ	演		1	26										
		デジタルスキルⅠ	演		1	26	デジタルスキルⅡ	演		1	26	デジタルスキルⅢ	演		1	26	デジタルスキルⅣ	演		1	26										
		Let's Speak EnglishⅠ	演		1	26	Let's Speak EnglishⅡ	演		1	26	Let's Speak EnglishⅢ	演		1	26	Let's Speak EnglishⅣ	演		1	26										
		小計			4	104	小計			3	78	小計			2	52	小計			3	78										
必修科目		国内観光資源Ⅰ	講	松川	2	52	国内観光資源Ⅱ	講	松川	2	52	国内観光資源Ⅲ	講	松川	1	26	国内観光資源Ⅳ	講	松川	1	26										
		ワールドデザインセッションⅠ	講	石松	1	26	ワールドデザインセッションⅡ	講	石松	1	26	ワールドデザインセッションⅢ	講	石松	1	26	ワールドデザインセッションⅣ	講	石松	1	26										
		商業実務Ⅰ	演	北瀬口	1	26	商業実務Ⅱ	演	北瀬口	1	26	商業実務Ⅲ	演	北瀬口	1	26	商業実務Ⅳ	演	北瀬口	1	26										
		SNSプロモーションⅠ	講	関野	1	26	SNSプロモーションⅡ	講	関野	1	26	SNSプロモーションⅢ	講	関野	1	26	SNSプロモーションⅣ	講	関野	1	26										
		アウトドア実務Ⅰ	演	企業	1	26	アウトドア実務Ⅱ	演	企業	1	26	アウトドア実務Ⅲ	演	企業	1	26	アウトドア実務Ⅳ	演	企業	1	26										
		観光業基礎Ⅰ	講	立石	1	26	観光業基礎Ⅱ	講	立石	1	26	観光業演習Ⅰ	演	立石	1	26	観光業演習Ⅱ	演	立石	1	26										
		観光業検対策Ⅰ	講	石松	1	26	観光業検対策Ⅱ	講	石松	1	26	Global CommunicationⅠ	演	Rhys	1	26	Global CommunicationⅡ	演	Rhys	1	26										
		時刻表実務	講	中山	1	26	観光総合プランニングⅠ	講	立石	1	26	観光総合プランニングⅡ	演	立石	1	26	観光総合プランニングⅢ	演	立石	1	26										
		旅行業法・旅行業約款Ⅰ	講	立石	1	26	旅行業法・旅行業約款Ⅱ	講	立石	1	26	旅行業法・旅行業約款Ⅲ	講	立石	2	52															
		JR運賃・料金Ⅰ	講	中山	1	26	JR運賃・料金Ⅱ	講	中山	1	26	JR運賃・料金Ⅲ	講	中山	1	26															
		国内旅行実務Ⅰ	講	舟宝	1	26	海外実務	講	舟宝	1	26	国内旅行実務Ⅱ	講	舟宝	1	26	エクスサイズ	演	北原	1	26										
		アママツスⅠ	演	立石	1	26	アママツスⅡ	演	立石	1	26	韓国語Ⅰ/中国語Ⅰ	講	立石	1	26	韓国語Ⅱ/中国語Ⅱ	講	立石	1	26										
		サービズ接遇検定対策	講	石神	1	26	ホスピタリティ	演	黒坂	1	26	社会人教養Ⅰ	講	立石	1	26	社会人教養Ⅱ	講	立石	1	26										
												手話講座Ⅰ	演	飯塚	1	26	手話講座Ⅱ	演	飯塚	1	26										
計		小計			14	364	小計			14	364	小計			15	390	小計			12	312										
		1年前期 合計			18	468	1年後期 合計			17	442	2年前期 合計			17	442	2年後期 合計			15	390										
		1年 合計								35	910	2年 合計								32	832										
2年間 総合計																														67	1,742
行事・研修		1年前期				1年後期				2年前期				2年後期																	
		オリエンテーション スポーツ大会				就職ガイダンス 進考対策セミナーⅠ・Ⅱ 中村学園 業界視察 観光地研修				オリエンテーション スポーツ大会				中村学園 観光地研修																	

共通科目

25 年度シラバス（授業計画）

科目名	キャリアデザインⅠ・Ⅱ			科目区分	共通科目
対象	昼間部・夜間部全コース			授業形式	演習
実施期	1 年 前期・後期	単位数	前期：1 単位 後期：1 単位	時間数	前期：26 時間 後期：26 時間
担当	講師名：就職室				
	実務経験：有・無	実務経験内容：			
授業概要	専門学校への入学は、就職を前提とした各人の進路を見出すことが大きな意義です。就職をする上で最も重要なことは自分を知ることです。当授業では、職業人としての心構えを身に付け、自己分析・企業研究を行い、内定へ向けたサポートを行います。				
到達目標	1、社会人へのステップに繋がる職業人としての基礎知識とマインドを身につける。 2、学生生活や人間関係、将来の仕事などで役に立つ自分の強みについて知る。 3、就職活動の基本的な考え方を理解し、実践に備える。 4、内定を勝ち取るための準備を進め、就職活動を通じて社会で通用する人材を目指す。				
検定資格	なし・必修・任意 名称：				
教科書教材	専門学校生のための就職内定基本テキスト（日本能率協会マネジメントセンター）				
授業計画	1 キャリアデザインとは 「仕事」とは？ 人はなぜ働くのか		1 就職活動スケジュール 求人票の見かた(雇用形態・社会保険・年金制度など)		
	2 キャリアデザインについて① 進路を考えよう（キャリア形成）・専門学生の強みを知る		2 身だしなみについて(就職活動本番の身だしなみ・マナーについて)		
	3 キャリアデザインについて② 企業で求められる人材とは？専門学生の就職活動の流れ		3 履歴書・ES の書き方演習		
	4 自己分析① 就職活動は自己分析から始まる ライフラインチャートを作ろう		4 就職活動における学内ルールについて (求人種別・キャリアサポートセンター利用方法について)		
	5 自己分析② 「これまでに何をしてきたか」「今、何をしているか」「これから何をしたいか」を考える		5 自己PR作り方		
	6 自己分析③ 「努力したこと」「自分の性格」を考える		6 会社について知る 企業講演会①		
	7 性格診断 MBTI からみた自身の傾向と向き合う 結果をもとに「長所・短所」を考える		7 志望動機の作り方		
	8 企業研究① 企業研究の進め方 業種・職種を調べる		8 会社について知る 企業講演会②		
	9 企業研究② 先輩の就職先について調べる		9 面接について①(グループディスカッション・面接対策)		
	10 企業研究③ 各企業の特徴について調べる		10 会社について知る 企業講演会③		
	11 企業研究④ 企業の最新動向を把握する		11 面接演習①（本番を想定した面接練習）		
	12 就職活動サイトの登録(マイナビ) 期末試験対策		12 面接演習②（本番を想定した面接練習）		
	13 期末試験返却・解説 前期の振り返り		13 期末試験返却・解説 後期の振り返り		
成績評価方法	下記評価基準に基づく				
成績評価基準	A：評価試験 85%以上、出席率 90%以上、平常点 優 B：評価試験 65%以上、出席率 80%以上、平常点 良 C：評価試験 40%以上、出席率 60%以上、平常点 可 D：評価試験 40%未満、出席率 60%未満、平常点 不可				

25 年度シラバス（授業計画）

科目名	ビジネスコミュニケーションⅠ			科目区分	共通科目
対象	全学科 全コース1年生			授業形式	演習
実施期	1年 前期	単位数	前期：1単位	時間数	前期：26時間
担当	講師名：井部・須田（礼）・橋本（幸）				
	実務経験：有・無	実務経験内容：			
授業概要	観光ビジネス業界にふさわしいマナーや必要知識を身に付けること。 ビジネスマナーを基にロールプレイを交えた内容で学ぶ。				
到達目標	1年次前期の企業実習や後期から始まる就職活動で自信をもって行動できるようになる。				
検定資格	なし ・ 必修 ・ 任意 名称：				
教科書 教材	秘書検定合格教本2・3級 新星出版社				
授業計画	1 挨拶の重要性・第一印象の重要性 実践ロールプレイ				
	2 相手に良い印象を与えるコツ 実践ロールプレイ				
	3 自己管理4つのポイント				
	4 社会人としてのルール				
	5 報告・連絡・相談 実践ロールプレイ				
	6 敬語の種類・正しい敬語の使い方				
	7 接遇用語の表現				
	8 接遇の立ち居振る舞い（受付・名刺の受け取り方） 実践ロールプレイ				
	9 ビジネス文書（基本文書体裁とルール、宛名書き） 実践ビジネス文書の作成				
	10 ビジネスメール 実践ビジネスメールの作成				
	11 電話のかけ方 実践ロールプレイ				
	12 電話の受け方と取り次ぎ方 実践ロールプレイ				
	13 まとめと振り返り				
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A：評価試験80%以上、出席率90%以上、平常点 優 B：評価試験60%以上、出席率80%以上、平常点 良 C：評価試験40%以上、出席率60%以上、平常点 可 D：評価試験40%未満、出席率60%未満、平常点 不可				

25 年度シラバス（授業計画）

科目名	デジタルスキルⅠ・Ⅱ			科目区分	共通科目
対象	1 年生 全学科			授業形式	演習
実施期	1 年 前期・後期	単位数	前期：1 単位 後期：1 単位	時間数	前期：26 時間 後期：26 時間
担当	講師名：宮崎・中島				
	実務経験：有・無	実務経験内容：			
授業概要	現代社会において、基本的なパソコン操作は必須スキルです 基礎的な PC 操作を理解するとともに、Word Excel の基本操作を修得します				
到達目標	アプリケーションの起動やファイル操作をはじめ、Word Excel を使用した簡易的な文書作成ができることを目標とします。また、文書作成において重要なタッチタイピングスキルを“ホームポジションを意識して両手で文字が打てるレベル”まで伸ばしましょう				
検定資格	なし ・ 必修 ・ 任意 名称：				
教科書 教材	・「30 時間アカデミック情報リテラシー Office2016」(実教出版) ・USB メモリ				
授業計画	1 Word 基礎,タイピング等		1 Excel 基礎,等		
	2 Word 基礎,タイピング等		2 Excel 基礎,等		
	3 Word 基礎,タイピング等		3 Excel 基礎,等		
	4 Word 基礎,タイピング等		4 Excel 基礎,等		
	5 Word 基礎,タイピング等		5 Excel 基礎,等		
	6 Word 基礎,タイピング等		6 Excel 基礎,等		
	7 Word 基礎,タイピング等		7 Excel 基礎,等		
	8 Word 基礎,タイピング等		8 Excel 基礎,等		
	9 Word 基礎,タイピング等		9 Excel 基礎,等		
	10 Word 基礎,タイピング等		10 Excel 基礎,等		
	11 Word 基礎,タイピング等		11 Excel 基礎,等		
	12 テスト前予習		12 テスト前予習		
	13 テスト返却,確認		13 テスト返却,確認		
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A：評価試験 80%以上、出席率 90%以上、平常点 優 B：評価試験 80%以上、出席率 80%以上、平常点 良 C：評価試験 70%以上、出席率 60%以上、平常点 可 D：評価試験 60%未満、出席率 60%未満、平常点 不可				

25 年度シラバス（授業計画）

科目名	Let's Speak English I・II			科目区分	共通科目
対象	昼間部全学科全コース			授業形式	演習
実施期	1 年 前期・後期	単位数	前期：1 単位 後期：1 単位	時間数	前期：26 時間 後期：26 時間
担当	講師名：Native teacher				
	実務経験：有・ ☐ 無	実務経験内容：			
授業概要	Anyone can speak English with foreigners with some effort. Simple key sentences and concepts are practiced through conversation, listening, and activities. Classes are divided by level, but all classes are taught in English only, with a native English speaker.				
到達目標	Communication in simple English about everyday topics. Students will be able to communicate with people from different countries and cultures.				
検定資格	☐ なし ・ 必修 ・ 任意 名称：				
教科書教材	Speak Now Level 1 Student Book (Oxford)				
授業計画	1 Self-introductions & greetings		1 Asking about family & family members		
	2 Introducing others		2 Describing & comparing personality		
	3 Asking for personal information & repetition		3 Giving & responding to compliments		
	4 Making small talk		4 Talking about clothes		
	5 Review of weeks 1-4		5 Review of weeks 1-4		
	6 Expressing likes & dislikes		6 Talking about routines		
	7 Asking about favourites		7 Asking follow-up questions		
	8 Asking about & telling the time		8 Talking about sequences		
	9 Asking for & giving opinions		9 Talking about ongoing activities		
	10 Review of weeks 6-9		10 Review of weeks 6-9		
	11 Test preparation		11 Test preparation		
	12 Speaking test		12 Speaking test		
	13 Review		13 Review		
成績評価方法	下記評価基準に基づく				
成績評価基準	A：評価試験 80%以上、出席率 90%以上、平常点 優 B：評価試験 60%以上、出席率 80%以上、平常点 良 C：評価試験 50%以上、出席率 60%以上、平常点 可 D：評価試験 50%未満、出席率 60%未満、平常点 不可				

トラベル・アウトドアコース

専門科目

25 年度シラバス（授業計画）

科目名	国内観光資源Ⅰ・Ⅱ			科目区分	専門科目
対象	観光科 トラベルアウトドアコース / 鉄道科 鉄道交通サービスコース			授業形式	講義
実施期	1 年 前期・後期	単位数：4 単位	前期：2 単位 後期：2 単位	時間数	前期：52 時間 後期：52 時間
担当	講師名：松川 信也				
	実務経験：有・無	実務経験内容：元旅行添乗員。旅行コンサルティング会社経営。総合旅行業務取扱管理者			
授業概要	日本全国の観光資源、自然景観、郷土文化全般を体系的に学び、国内旅行の実務を行う上での必要知識を習得する。				
到達目標	1.国内旅行の実務上必要となる観光資源の傾向を理解する。 2.日本国内の主要な観光資源の内容を説明できるようになる。 3.観光ビジネスを支える国内輸送手段（鉄道・航空）についての理解を深める。				
検定資格	なし・必修・任意 名称：国内旅行業務取扱管理者 世界遺産検定				
教科書教材	「国内観光資源」（JTB 総研） 「旅に出たくなる地図・日本」（帝国書院）				
授業計画	1 2025 国内旅行の主要動向（1）		1 日本の祭（1）－秋①		
	2 2025 国内旅行の主要動向（2）		2 日本の祭（1）－秋②		
	3 日本の基本観光地（1）		3 国内主要鉄道網		
	4 日本の基本観光地（2）		4 日本の新幹線		
	5 日本の基本観光地（3）		5 日本の祭（2）－冬①		
	6 日本の世界遺産（1）		6 日本の祭（2）－冬②		
	7 日本の世界遺産（2）		7 国内航空・空港の知識（1）		
	8 日本の世界遺産（3）		8 国内航空・空港の知識（2）		
	9 日本の主要観光地全般（1）		9 日本の祭（3）－春①		
	10 日本の主要観光地全般（2）		10 日本の祭（3）－春②		
	11 日本の国立公園及び関連観光地（1）		11 日本の食文化		
	12 日本の国立公園及び関連観光地（2）		12 日本の祭（4）－夏①		
	13 日本の国立公園及び関連観光地（3）		13 日本の祭（4）－夏②		
成績評価方法	下記評価基準に基づく				
成績評価基準	A：評価試験 80%以上、出席率 80%以上、平常点 優 B：評価試験 60%以上、出席率 80%以上、平常点 良 C：評価試験 40%以上、出席率 60%以上、平常点 可 D：評価試験 40%未満、出席率 60%未満、平常点 不可				

25 年度シラバス（授業計画）

科目名	ワールドデスティネーションズⅠ・Ⅱ			科目区分	専門科目
対象	観光科　トラベル・アウトドアコース			授業形式	講義
実施期	1 年 前期 ・ 後期	単位数： 2 単位	前期　： 1 単位 後期　： 1 単位	時間数	前期　： 26 時間 後期　： 26 時間
担当	講師名：石松先生				
	実務経験　： 有 ・ 無	実務経験内容：旅行業界にて旅程管理実務経験あり。			
授業概要	概論においては、世界を7エリアに分け、代表的な国・地域の基本情報（首都、主要空港および3レター、通貨、代表的な観光資源）について学ぶ。エリアごとに小テストを実施する。 各論においては、渡航先の更なる情報（地勢、宗教、言語、文化風習、歴史、観光資源その他）について理解を深める。履修内容、順番は、変更される場合がある。授業はエアライン科と合同で行なわれる。二年次でⅢ・Ⅳの授業へ続く。				
到達目標	緯度・経度およびそれに関連する事項について理解し、考察できる。 世界のエリア、主要な国や地域、都市を地図上で把握できる。 渡航先の観光資源が、なぜ資源となり得るのかを理解できる。				
検定資格	なし ・ 必修　・ 任意	名称：			
教科書 教材	・ 旅に出たくなる地図　世界（帝国書院）　・ 海外旅行地理プラクティカル（JTB 総合研究所） ・ 世界白地図（JTB 総合研究所）　適宜プリント使用				
授業計画	1　授業ガイダンス、地図に慣れる		1　概論：北米		
	2　投影法、緯度、経度、大陸、エリア		2　概論：中南米、小テスト		
	3　概論：エリア別に基礎を学ぶ・東アジア 1		3　概論：オセアニア 1		
	4　概論：東アジア 2、小テスト		4　概論：オセアニア 2、小テスト		
	5　概論：東南アジア 1、小テスト		5　各論：韓国、台湾		
	6　概論：東南アジア 2、南アジア		6　各論：香港・マカオ、中華人民共和国		
	7　概論：　南アジア、中東 1		7　各論：東アジアの補足		
	8　概論：中東 2、小テスト		8　各論：タイ、ベトナム、カンボジア		
	9　概論：ヨーロッパ 1		9　各論：シンガポール、インドネシア		
	10　概論：ヨーロッパ 2、小テスト		10　各論：インド、ネパール、その他		
	11　概論：ヨーロッパ 3、小テスト		11　各論：トルコ		
	12　前期まとめ		12　後期まとめ		
	13　定期試験返却と解説、概論：ヨーロッパ 4		13　定期試験返却と解説		
成績評価 方法	下記評価基準に基づく。				
成績評価 基準	A：評価試験 80%以上、および出席率 80%以上、および平常点　優。 B：評価試験 60%以上、または出席率 70%以上、または平常点　良 C：評価試験 40%以上、または出席率 60%以上、または平常点　可 D：評価試験 40%未満、または出席率 60%未満、または平常点　不可				

25 年度シラバス（授業計画）

科目名	添乗実務Ⅰ・Ⅱ			科目区分	専門科目
対象	観光科トラベル・アウトドアコース			授業形式	演習
実施期	1 年 前期 ・ 後期	単位数： 2 単位	前期： 1 単位 後期： 1 単位	時間数	前期： 26 時間 後期： 26 時間
担当	講師名：北湯口 茂				
	実務経験： 有 ・無	実務経験内容：旅行業界にて添乗員実務経験あり。			
授業概要	【前期；国内】国内旅行添乗には、まず業務の基本を理解し頭に入れておく必要があります。ツアーコンダクターとして行うべき業務はもちろん、それがなぜ必要な業務なのか意味を理解しながら学びます。 【後期；海外】海外へ仕事の舞台を広げていくうえで必要となる様々な基礎知識の習得と基本業務の流れを学びます。海外旅行添乗においては、言葉や文化の違いから、よりお客様に寄り添った接客が必要です。				
到達目標	国内、海外ツアーコンダクターとしての業務知識の習得と基本的な業務の流れを理解します。 【国内】国内旅行添乗業務を遂行するにあたり必要な業務知識の基本を確実に覚えます。 【海外】国内旅行添乗業務との違いを幅広く学習すると共に、海外旅行添乗業務の基本知識を習得します。				
検定資格	なし ・ 必修 ・ 任意 名称：国内旅程管理主任者資格				
教科書教材	1. 旅程管理研修教本（日本添乗サービス協会） 2. プリント（講師が実践で使用した各種書類：日程表、行程指示書、英文日程表、英文指示書、等） 3. 各種公的書類（E-TKT 航空券控え、J R 券、クーポン券類）のコピー				
授業計画	1 添乗員の役割とお客様に対する接遇		1 海外添乗と国内添乗の違い(旅券と査証・各種手配)		
	2 出発前準備と添乗打ち合わせ（各種作成書類）		2 事前準備（下調べと資料作成、等）		
	3 各種クーポン概論・各種関係機関の予約確認		3 海外一般情報（通関、通貨、TIP、時差、気候、）		
	4 集合場所スタンバイと受付・バス車内のご案内		4 英文アイティナリーの読み方（基本的英語の理解）		
	5 人員点呼・各地のお客様誘導（観光券使用要領）		5 打合わせ業務（受け取る書類と確認・挨拶電話）		
	6 宿泊業務の流れ（宿泊券・業務券の使用要領）		6 添乗業務①（出発～現地到着～乗継ぎと現地入国）		
	7 JR 業務の流れ（船車券の使用要領を含む）		7 添乗業務②（(宿泊、食事、観光、各種移動）		
	8 AIR 業務の流れ（E-TKT 取扱い・WEB 予約）		8 帰国（帰国準備、海外での免税手続き、出国）		
	9 帰着～解散までの業務の流れ		9 日本到着（検疫、入国、税関、国内線乗り継ぎ）		
	10 精算書作成要領・ツアー報告書の作成重要性		10 精算と報告（アンケートと個人情報の取扱い）		
	11 業界用語・国内旅行地理・日本の有名観光地		11 業界用語を覚える（2 レター、3 レター、英単語）		
	12 前期復習（前期授業の理解度再確認）		12 前期復習（前期授業の理解度再確認）		
	13 試験答案返却と解答解説		13 試験答案返却と解答解説		
成績評価方法	下記評価基準に基づく				
成績評価基準	A：評価試験 80 点以上、出席率 90%以上、平常点 優 B：評価試験 60 点以上、出席率 80%以上、平常点 良 C：評価試験 40 点以上、出席率 60%以上、平常点 可 D：評価試験 40 点未満、出席率 60%未満、平常点 不可				

25 年度シラバス（授業計画）

科目名	SNS プロモーションⅠ・Ⅱ			科目区分	専門科目
対象	観光科トラベルアウトドアコース・鉄道科鉄道交通サービスコース			授業形式	講義
実施期	1 年 前期・後期	単位数：2 単位	前期：1 単位 後期：1 単位	時間数	前期：26 時間 後期：26 時間
担当	講師名：間野 圭子				
	実務経験：有・無	地域活性化団体に所属しながら、企業や自治体との業務を実施。			
授業概要	SNS を活用し、観光プロモーションの創り出し方を学ぶ。主に Instagram を実際に運用しながら、効果的なプロモーションについて実践的な経験を習得する。各 SNS の運用をはじめ、プロモーション全体として戦略的なアプローチ方法を学ぶ。				
到達目標	基本的な Instagram の運用ができるようになる。プロモーションの意味を理解し、その手段として SNS を使うことができる。Instagram を使った効果的なプロモーションを企画運用できる。SNS ごとの特徴を活かし、総合的にプロモーションできるようになる。				
検定資格	なし・必修・任意 名称：				
教科書教材	なし（適宜、資料を用意します）				
授業計画	1 SNS とは 世代別・世の中の SNS	1 Instagram の広告①			
	2 Instagram アカウントの作り方～基本機能	2 Instagram の広告②			
	3 デザインの重要性	3 プロフィールの役割			
	4 デザインの基本	4 投稿の種類			
	5 写真の撮り方①	5 リールの役割			
	6 写真の撮り方②	6 リールでリーチ数を伸ばす			
	7 掲載文の作り方	7 ダッシュボード分析①			
	8 ハッシュタグ、キャッチコピー	8 ダッシュボード分析②			
	9 ストーリーズ・リールの作り方	9 SNS 連携プロモーション①			
	10 効果的な連続投稿	10 SNS 連携プロモーション②			
	11 プロフェッショナルダッシュボード	11 リスク管理①			
	12 まとめ①	12 リスク管理②			
	13 まとめ②	13 まとめ			
成績評価方法	下記評価基準に基づく				
成績評価基準	A：評価試験 80%以上、出席率 90%以上、平常点 優 B：評価試験 70%以上、出席率 80%以上、平常点 良 C：評価試験 40%以上、出席率 60%以上、平常点 可 D：評価試験 40%未満、出席率 60%未満、平常点 不可				

25 年度シラバス（授業計画）

科目名	アウトドア実務Ⅰ・Ⅱ			科目区分	専門科目
対象	観光科　トラベル・アウトドアコース			授業形式	演習
実施期	1 年　前期・後期	単位数： 2 単位	前期　： 1 単位 後期　： 1 単位	時間数	前期　： 26 時間 後期　： 26 時間
担当	講師名：豊島 大輝				
	実務経験　：　有　・　無	実務経験内容：グランピングおよびアウトドア企業での実務経験			
授業概要	アウトドア業界の歴史と市場について学び、自らアウトドアやグランピングでのサービスを提供するための具体的な知識とスキルを習得する。実際にマーケティングを伴い様々なアウトドアアクティビティを提供できる為の安全管理や衛生管理も同時に習得する。				
到達目標	・アウトドア業界の歴史、市場規模について理解する。 ・グランピングなど最新のアウトドアのトレンドについて理解する。 ・様々な種類のアウトドアアクティビティを学び、アウトドアの基礎知識を習得する。				
検定資格	なし　・　必修　・　任意　　　名称：				
教科書 教材	楽しむ！極める！キャンプ完全ガイド（西東社）				
授業計画	1 オリエンテーション		1 アウトドアアクティビティ 1		
	2 キャンプの歴史 1		2 アウトドアアクティビティ 2		
	3 キャンプの歴史 2		3 アウトドアアクティビティ 3		
	4 キャンプの歴史 3		4 マイクロコンテンツ開発 1		
	5 グランピングの誕生 1		5 マイクロコンテンツ開発 2		
	6 グランピングの誕生 2		6 マイクロコンテンツ開発 3		
	7 グランピングの種類 1		7 マイクロコンテンツ演習 1		
	8 グランピングの種類 2		8 マイクロコンテンツ演習 2		
	9 グランピングの種類 3		9 マイクロコンテンツ演習 3		
	10 グランピング市場動向 1		10 マーケティング論 1		
	11 グランピング市場動向 2		11 マーケティング論 2		
	12 グランピング市場動向 3		12 グランピングの実習 1		
	13 グランピングまとめ		13 グランピングの実習 2		
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A：評価試験及び理解度 80%以上、出席率 90%以上、平常点　優 B：評価試験及び理解度 60%以上、出席率 80%以上、平常点　良 C：評価試験及び理解度 40%以上、出席率 60%以上、平常点　可 D：評価試験及び理解度 40%未満、出席率 60%未満、平常点　不可				

25 年度シラバス（授業計画）

科目名	観光業基礎Ⅰ・Ⅱ			科目区分	専門科目
対象	観光科トラベル・アウトドアコース			授業形式	講義
実施期	1 年 前期・後期	単位数：2 単位	前期：1 単位 後期：1 単位	時間数	前期：26 時間 後期：26 時間
担当	講師名：立石 智之				
	実務経験：有・無	実務経験内容：旅行会社の営業及びコールセンターにて実務経験あり。			
授業概要	将来、観光業界で働きたいと希望している学生に対し、観光業界ってどのような仕事があるのか？どのような会社があるのか？を学んでいただきます。特に1年生後期から就職活動がスタートしますので実際の就職活動を見据え、“幅広い業界知識”を身に付けます。お客様に一生に一度の「感動」を約束する仕事、それが観光業です。夢に向かって業界について学んでいきましょう。				
到達目標	観光業界を広く知ることによって自身が目指す業界がどのように社会と関わりを持っているかを学びます。				
検定資格	なし・必修・任意 名称：				
教科書 教材	なし（適宜、資料を用意します）				
授業計画	1 観光業界全体の構成・業界動向		1 旅行業界の現状		
	2 鉄道業界及び業界動向・勤務シフト例等		2 鉄道業界・エアライン業界の現状		
	3 テーマパーク（運営）業界動向		3 企業研究（就職における気になる業界の確認）		
	4 テーマパーク（エンターテインメント）業界動向		4 企業研究（就職における気になる業界の確認）		
	5 旅行業界及び業界動向		5 企業研究（就職における気になる業界の確認）		
	6 エアライン業界及び業界動向		6 就職対策（面接における諸注意）		
	7 ホテル業界（宿泊）業界動向		7 就職対策（面接における諸注意）		
	8 ブライダル業界動向		8 企業研究（就職における気になる業界の確認）		
	9 ホテル業界（料飲）業界動向		9 企業研究（就職における気になる業界の確認）		
	10 ケーススタディー(テーマパーク編)		10 就職対策（志望動機、自己PR）		
	11 ケーススタディー(旅行・観光編)		11 就職対策（志望動機、自己PR）		
	12 期末試験対策		12 期末試験対策		
	13 期末試験解説		13 期末試験解説		
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A：評価試験 90%以上、出席率 90%以上、平常点 優 B：評価試験 60%以上、出席率 80%以上、平常点 良 C：評価試験 30%以上、出席率 60%以上、平常点 可 D：評価試験 30%未満、出席率 60%未満、平常点 不可				

25 年度シラバス（授業計画）

科目名	観光英検対策Ⅰ・Ⅱ			科目区分	専門科目
対象	観光科　トラベル・アウトドアコース			授業形式	講義
実施期	1 年 前期 ・ 後期	単位数：2 単位	前期　： 1 単位 後期　： 1 単位	時間数	前期　： 26 時間 後期　： 26 時間
担当	講師名：石松先生				
	実務経験　： 有 ・無	実務経験内容：旅行業界にて旅程管理実務経験あり。			
授業概要	観光英語検定は、「業務遂行に必要な英語力を持ったプロフェッショナル」を育成する目的で、全国語学ビジネス観光教育協会の専門学校を中心に実施される検定です。検定合格を目指し、テキストおよび演習問題を中心に、基礎から学びます。 試験合格には英語力の他、国内および海外の地理の知識が必要です。相応の勉強量は必須です。				
到達目標	今年度 10 月または 2 年次 6 月に行なわれる試験における、3 級の取得。 あるいは、協会で設定する 3 級ないし 2 級レベルの英語力の習得。 (検定レベルは全国語学ビジネス観光教育協会 HP https://kanko.zgb.gr.jp を参照)				
検定資格	なし　・　必修　・ 任意	名称：　観光英語検定試験			
教科書 教材	ベーシック観光英語　English for Tourism Basic　三修社				
授業計画	1　授業ガイダンス（過去問題を使用）		1　Sightseeing (words, conversations)		
	2　Travel (words, conversations)		2　Sightseeing (reading, listening)		
	3　Travel (reading, listening)		3　受検前の演習問題		
	4　Airport (words, conversations)		4　受験前の演習問題		
	5　Airport (reading, listening)		5　実施された試験のふりかえり 1 (Reading)		
	6　Accommodations (words, conversations)		6　実施された試験のふりかえり 2 (Reading)		
	7　Accommodations (reading, listening)		7　実施された試験のふりかえり 3 (Listening)		
	8　Transportation (words, conversation)		8　実施された試験のふりかえり 4 (Listening)		
	9　Transportation (reading, listening)		9　ホテルサイトを読む		
	10　Shopping (words, conversation)		10　博物館の案内文を読む		
	11　Shopping (reading, listening)		11　JR の案内文（英文）を読む		
	12　前期復習と演習問題		12　後期復習と演習問題		
	13　定期試験返却と解説		13　定期試験返却と解説、次年度受験の補強点確認		
成績評価 方法	下記評価基準に基づく。 後期においては、3 級合格の場合、下記の B 評価の基準で A 評価、C 評価の基準で B 評価が与えられる。				
成績評価 基準	A：評価試験 80%以上、および出席率 80%以上、および平常点　優。 B：評価試験 60%以上、または出席率 70%以上、または平常点　良 C：評価試験 40%以上、または出席率 60%以上、または平常点　可 D：評価試験 40%未満、または出席率 60%未満、または平常点　不可				

25 年度シラバス（授業計画）

科目名	時刻表実務			科目区分	専門科目
対象	観光科　トラベル・アウトドアコース			授業形式	講義
実施期	1 年 前期	単位数	前期　：　1 単位	時間数	前期　：　26 時間
担当	講師名：中山　健也				
	実務経験　：　①有　・　無	実務経験内容：鉄道会社にて駅員、乗務員経験あり。			
授業概要	旅行・鉄道に関連する業務に従事するものにとって必要不可欠な時刻表の基本的な使用方法を習得していきます。初めて時刻表に触れる学生が多いと思いますが、初めて学習する学生が理解できるように、基礎的な問題から順序立てて、進めていきます。				
到達目標	業界で必要とされる時刻表実務能力の習得を最終目標とする。				
検定資格	なし　・　必修　・　任意　　　名称：				
教科書 教材	「JR 時刻表」（交通新聞社）1375 円（税込み）				
授業計画	1　時刻表の基礎的な使い方				
	2　さくいん地図の見方①				
	3　さくいん地図の見方②				
	4　駅構内図、地下鉄路線図				
	5　列車時刻の調べ方①				
	6　列車時刻の調べ方②				
	7　列車時刻の調べ方③				
	8　列車の乗り継ぎ①				
	9　列車の乗り継ぎ②				
	10 列車の乗り継ぎ③				
	11 特急列車の早見表（時刻）				
	12 期末試験対策				
	13 期末試験解説				
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A：評価試験 80%以上、出席率 90%以上、平常点　優 B：評価試験 60%以上、出席率 80%以上、平常点　良 C：評価試験 30%以上、出席率 60%以上、平常点　可 D：評価試験 30%未満、出席率 60%未満、平常点　不可				

25 年度シラバス（授業計画）

科目名	旅行業法・旅行業約款Ⅰ・Ⅱ			科目区分	専門科目
対象	観光科　トラベル・アウトドアコース			授業形式	講義
実施期	1 年　前期・後期	単位数：2 単位	前期　： 1 単位 後期　： 1 単位	時間数	前期　： 26 時間 後期　： 26 時間
担当	講師名：立石　智之				
	実務経験　：　有　・　無	実務経験内容：旅行会社の営業及びコールセンターにて実務経験あり。			
授業概要	「旅行業法」は旅行会社とお客様との間にトラブルがないよう国と旅行会社の間に定められた『法律』です。「旅行業約款」は旅行会社とお客様と旅行を契約する上での『約束事』です。どちらも具体例をあげながら“旅行業界のルール”を学習し、過去問を解いて国家試験対策を行います。				
到達目標	観光業界を広く知ることによって自身が目指す業界がどのように社会と関わりを持っているかを学びます。				
検定資格	なし　・　必修　・　任意　　名称：				
教科書 教材	「旅行業法及びこれに基づく命令」（　J T B総研　） 「旅行業約款、各種運送約款・料金」（　J T B総研　）				
授業計画	1　旅行業法①（目的・定義）		1　旅行業法⑥（契約の締結）		
	2　旅行業法②（登録）		2　旅行業法⑦（契約の解除、団体グループ契約）		
	3　旅行業法③（旅行業について）		3　旅行業法⑧（旅程管理・損害賠償）		
	4　旅行業法④（募集型企画旅行）		4　旅行業法⑨（受注型企画旅行・手配旅行）		
	5　旅行業法⑤（取引条件の説明）		5　旅行業法⑩（旅行業協会）		
	6　旅行業約款①（標準旅行業約款）		6　旅行業約款⑥（解除権、団体グループ契約）		
	7　旅行業約款②（募集型：適用範囲など）		7　旅行業約款⑦（特別補償規程）		
	8　旅行業約款③（用語の定義、契約）		8　旅行業約款⑧（旅程保証）		
	9　旅行業約款④（契約書面と流れ）		9　旅行業約款⑨（受注型企画旅行）		
	10　旅行業約款⑤（確定書面と流れ）		10　旅行業約款⑩（手配旅行、旅行相談契約）		
	11　旅行業法　振り返り		11　旅行業法　振り返り		
	12　旅行業約款　振り返り		12　旅行業約款　振り返り		
	13　期末試験解説		13　期末試験解説		
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A：評価試験および授業理解度 80%以上、出席率 90%以上、平常点　優 B：評価試験および授業理解度 60%以上、出席率 80%以上、平常点　良 C：評価試験および授業理解度 40%以上、出席率 60%以上、平常点　可 D：評価試験および授業理解度 40%未満、出席率 60%未満、平常点　不可				

25 年度シラバス（授業計画）

科目名	JR 運賃・料金Ⅰ・Ⅱ			科目区分	専門科目
対象	観光科 トラベル・アウトドアコース			授業形式	講義
実施期	1 年 前期・後期	単位数：2 単位	前期：1 単位 後期：1 単位	時間数	前期：26 時間 後期：26 時間
担当	講師名：中山 健也				
	実務経験：(有)・無	実務経験内容：鉄道会社にて駅員、乗務員経験あり。			
授業概要	JR の運賃料金システムについて、実務者として必要な知識・技術を身に付けるとともに、国内旅行業務取扱管理者試験で必要とされる能力を培い試験対策としていきます。国家試験の合格はもとより、業界で必要とされる知識の習得を目指して学習していきます。				
到達目標	・国内旅行業務取扱管理者試験の合格 ・業界で必要とされる実務能力の習得				
検定資格	なし・必修・任意 名称：国内旅行業務取扱管理者				
教科書教材	国内運賃・料金 (JTB 総合研究所)				
授業計画	1 JR 各社について	1 団体運賃の計算について			
	2 幹線と地方交通線について	2 JR 料金の基本的な考え方			
	3 幹線と地方交通線の計算	3 特急料金の変動			
	4 片道運賃の計算	4 グリーン料金、寝台料金、個室について			
	5 通過連絡運輸、連続運賃について	5 新幹線乗継ぎについて			
	6 通過連絡運輸、連続運賃の計算について	6 在来線の特急料金の乗継ぎについて			
	7 特定都区市内制度について	7 JR 各社にまたがる新幹線の料金計算			
	8 特定都区市内制度の計算	8 各新幹線の料金計算について①			
	9 学生割引、往復割引制度について	9 各新幹線の料金計算について②			
	10 学生割引、往復割引制度の計算	10 乗車券類の取扱いについて			
	11 団体割引運賃について	11 払い戻し計算について			
	12 期末試験対策	12 期末試験対策			
	13 期末試験解説	13 期末試験解説			
成績評価方法	下記評価基準に基づく				
成績評価基準	A：評価試験 80%以上、出席率 90%以上、平常点 優 B：評価試験 60%以上、出席率 80%以上、平常点 良 C：評価試験 30%以上、出席率 60%以上、平常点 可 D：評価試験 30%未満、出席率 60%未満、平常点 不可				

25 年度シラバス（授業計画）

科目名	国内旅行実務Ⅰ			科目区分	専門科目
対象	観光科トラベルアウトドアコース・鉄道科鉄道交通サービスコース			授業形式	講義
実施期	1 年 前期	単位数	前期：1 単位	時間数	前期：26 時間
担当	講師名：舟寶 加代子				
	実務経験：有	実務経験内容：旅行会社にて国内海外実務の経験あり。			
授業概要	JR・貸切バス・フェリー運送・宿泊機関の運賃料金のシステムについて、実務者として必要な知識・技術を身につけるとともに、国内旅行業務取扱管理者試験で必要とされる能力を培い試験対策としていきます。国家試験の合格はもとより、業界で必要とされる知識の習得を目指して学習していきます。				
到達目標	国内旅行業務取扱管理者試験を受験する際に必要な知識の習得				
検定資格	任意 名称：国内旅行業務取扱管理者試験				
教科書 教材	「国内運賃・料金」「旅行業約款」（JTB総研） 過去問題プリント				
授業計画	1 約款とは 1				
	2 募集型企画旅行約款（契約の締結）				
	3 募集型企画旅行約款（契約の変更）				
	4 募集型企画旅行約款（契約の拒否）				
	5 募集型企画旅行約款（責任）				
	6 募集型企画旅行約款（特別保障）				
	7 募集型企画旅行約款（旅程保証）				
	8 受注型企画旅行約款				
	9 手配型企画旅行約款				
	10 渡航代行契約・相談約款				
	11 貸切バス約款・運賃料金				
	12 フェリー・宿泊・国内航空約款・運賃料金				
	13 期末テスト返却 及び 回答・解説				
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A：授業理解度 80%以上、出席率 90%以上、平常点優 B：授業理解度 60%以上、出席率 80%以上、平常点良 C：授業理解度 40%以上、出席率 60%以上、平常点可 D：授業理解度 40%未満、出席率 60%未満、平常点不可				

25 年度シラバス（授業計画）

科目名	アマデウスⅠ・Ⅱ			科目区分	専門科目
対象	観光科　トラベル・アウトドアコース			授業形式	演習
実施期	1 年 前期 ・ 後期	単位数： 2 単位	前期　： 1 単位 後期　： 1 単位	時間数	前期　： 26 時間 後期　： 26 時間
担当	講師名：栞原　和希 / 立石　智之				
	実務経験　： 有 ・　無	実務経験内容：物流関連企業にて実務経験あり。 旅行業界にて実務経験あり。			
授業概要	アマデウスは GDS（Global Distribution System）として、全世界の航空会社や旅行会社にとって航空券やホテルなどを手配するための必要不可欠なシステムとなっています。アマデウスの国際線予約基本操作を習得し、アマデウスシステム検定試験 Specialist 資格取得を目指します。				
到達目標	①　アマデウスシステムでの予約記録が作成できること。 ②　アマデウスシステム検定試験 Amadeus Reservation Fundamentals 資格の取得。				
検定資格	なし　・ 必修 ・　任意　　　名称：				
教科書 教材	Amadeus 予約ユーザーガイド（最新版） アマデウス予約クイックガイド				
授業計画	1　オリエンテーション　（システム概要）	1　前期振り返り			
	2　各種コード検索　①空港・都市（3レター）	2　PNR 作成　応用①　CHL・INF 入力			
	3　各種コード検索　②航空会社（2レター）	3　PNR 作成　応用②　ARNK セグメント			
	4　検索コード　小テスト	4　PNR 作成　応用③　SSR 入力			
	5　空席照会　基礎（往路・往復路）	5　PNR 作成　小テスト			
	6　空席照会　応用①　航空会社・座席指定	6　タイムスケジュール　エントリ・読み取り			
	7　空席照会　応用②　乗り継ぎ・アライアンス	7　ショートカットエントリ　①日付変更			
	8　座席予約　予約方法（往路・往復）	8　ショートカットエントリ　②			
	9　空席照会　小テスト	9　ショートカットエントリ　③取り消し・修正			
	10　PNR 作成　基礎①　旅客入力（ヘボン式）	10　ショートカットエントリ　小テスト			
	11　PNR 作成　基礎②　連絡先入力	11　振り返り問題			
	12　PNR 作成　基礎③　PNR 完了	12　過去問練習・解説①			
	13　前期振り返り	13　過去問練習・解説②			
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A：評価試験 80%以上、出席率 90%以上、平常点　優 B：評価試験 60%以上、出席率 80%以上、平常点　良 C：評価試験 40%以上、出席率 60%以上、平常点　可 D：評価試験 40%未満、出席率 60%未満、平常点　不可				

25 年度シラバス（授業計画）

科目名	サービス接客検定対策			科目区分	専門科目
対象	テーマパーク科・観光科・鉄道科			授業形式	講義
実施期	1 年 前期	単位数	前期：1 単位	時間数	前期：26 時間
担当	講師名：石神 直人				
	実務経験 有 無	実務経験内容：観光業界にて実務経験あり。サービス接客 1 級所持。			
授業概要	観光業界の接客において必要な基礎知識習得やケーススタディによる基礎接客を身に付ける・				
到達目標	サービス接客検定 3 級程度の知識・技能を身に付ける。				
検定資格	なし ・ 必修 ・ 任意 名称：				
教科書 教材	サービス接客検定 公式テキスト 3 級 （早稲田教育出版）				
授業計画	1 サービススタッフの資質①必要とされる条件 問題解答及び解説・実践ロールプレイ				
	2 サービススタッフの資質②従業要件 問題解答及び解説・実践ロールプレイ				
	3 専門知識① サービス知識 問題解答及び解説・実践ロールプレイ				
	4 専門知識① 従業知識 問題解答及び解説・実践ロールプレイ				
	5 一般知識①社会常識 問題解答及び解説				
	6 一般知識②社会常識 問題解答及び解説				
	7 一般知識③社会常識 問題解答及び解説				
	8 対人技能①人間関係 問題解答及び解説				
	9 対人技能②対人技能 問題解答及び解説・実践ロールプレイ				
	10 対人技能③話し方・服装 問題解答及び解説・実践ロールプレイ				
	11 実務技能①問題処理・環境整備 問題解答及び解説				
	12 実務技能②金品管理・社交業務 問題解答及び解説				
	13 まとめと振り返り				
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A：評価試験 80%以上、出席率 90%以上、平常点 優 B：評価試験 60%以上、出席率 80%以上、平常点 良 C：評価試験 40%以上、出席率 60%以上、平常点 可 D：評価試験 40%未満、出席率 60%未満、平常点 不可				

25 年度シラバス（授業計画）

科目名	観光総合プランニングⅠ			科目区分	専門科目
対象	観光科　トラベル・アウトドアコース			授業形式	演習
実施期	1 年　後期	単位数	前期　：　1 単位	時間数	前期　：　26 時間
担当	講師名：立石　智之				
	実務経験　：　有	実務経験内容：旅行会社の営業及びコールセンターにて実務経験あり。			
授業概要	今の旅行プランニングは個人と団体で大きく内容が違います。それぞれの違いを理解した上でどちらでも案内できるようにプラン立案や作成を実行していきます。他の科目でも学んでいる内容を交えながら、総合的に組み合わせていくことにより、より良いプランの提案から実施までの案内を出来るよう成長しましょう。				
到達目標	国内・海外における個人・団体旅行についての必要な知識の習得				
検定資格	なし　　　名称：				
教科書 教材	なし (適宜、プリントを利用します)				
授業計画	1　プランニング基礎①（時間の計算、プラン内容の検討）				
	2　プランニング基礎②（時間計算、旅行代金の計算）				
	3　プランニング基礎③（旅行作成の上で必要事項の確認）				
	4　個人プランニング基礎①（旅行の提案についての学習）				
	5　個人プランニング基礎②（旅行の提案についての学習）				
	6　個人プランニング基礎③（旅行の提案についての学習）				
	7　個人プランニング基礎④（旅行の提案についての学習）				
	8　団体プランニング基礎①（旅行の提案についての学習）				
	9　団体プランニング基礎②（旅行の提案についての学習）				
	10　団体プランニング基礎③（旅行の提案についての学習）				
	11　団体プランニング基礎④（旅行の提案についての学習）				
	12　総合プランニング①				
	13　総合プランニング①				
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A：授業理解度 80%以上、出席率 90%以上、平常点優 B：授業理解度 60%以上、出席率 80%以上、平常点良 C：授業理解度 40%以上、出席率 60%以上、平常点可 D：授業理解度 40%未満、出席率 60%未満、平常点不可				

25 年度シラバス（授業計画）

科目名	海外実務			科目区分	専門科目
対象	観光科　トラベル・アウトドアコース			授業形式	講義
実施期	1 年 後期	単位数	後期　：　1 単位	時間数	後期　：　26 時間
担当	講師名：舟寶　加代子				
	実務経験　：　有	実務経験内容：旅行会社にて国内海外実務の経験あり。			
授業概要	海外旅行に必要な出入国法令の知識、ならびに海外旅行実務（時差の計算、航空会社や鉄道、ホテル、食事など）の海外事情や知識を習得します。また、実際にお客様を添乗するときに必要な業務やトラブルの対処方法なども学びます。旅行会社及び関連業界で働く上で役立つ知識を学びます。				
到達目標	旅行業務関連の仕事に求められる最低限の海外旅行業務知識を身につける。文化の異なる国々に興味を広げる事で、現地での対応能力を養う。				
検定資格	なし　　名称：				
教科書 教材	「出入力法令と実務　旅行実務」（J T B総合研究所） プリント				
授業計画	1　CIQ・海外旅行について				
	2　旅券（パスポート）取得について				
	3　査証（ビザ）について				
	4　出入国管理について（日本出国）				
	5　予防接種と検疫について				
	6　シェンゲン協定・ユーロ・EU について				
	7　免税・税関について（日本帰国）				
	8　外国のホテルについて（種類と特徴・眺望等）				
	9　各国のレストラン・食事・飲料について				
	10　海外の治安・海外旅行保険について				
	11　2 レター・3 レター・時差について				
	12　飛行機の所要時間・フライト情報				
	13　期末試験　返却　振り返り				
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A：授業理解度 80%以上、出席率 90%以上、平常点優 B：授業理解度 60%以上、出席率 80%以上、平常点良 C：授業理解度 40%以上、出席率 60%以上、平常点可 D：授業理解度 40%未満、出席率 60%未満、平常点不可				

25 年度シラバス（授業計画）

科目名	ホスピタリティ			科目区分	専門科目
対象	昼間部 観光科・鉄道科・エアライン科・テーマパーク科 全コース			授業形式	演習
実施期	1 年 後期	単位数	後期： 1 単位	時間数	後期： 26 時間
担当	講師名：黒坂 明子				
	実務経験：有 ・ 無		客室乗務員		
授業概要	ホスピタリティマインドとは {相手の立場に立って考え相手を慮る心} です。ホスピタリティの精神を理解し、おもてなしの心を感じよく表現できる人材の育成を目的とします。心理学の知見を応用し行動変容の重要性を学び、自己肯定感を高めることからスタートします。様々なワークを通し、おもてなしの実例に触れながら共に考え、ITH の教育理念に基づいた「ホスピタリティ豊かな人材の育成」のゴールを目指します。				
到達目標	あらゆるタイプの人とも上手に交流できるようになる 周りからみられている自分のイメージを確認し、自己改善を図る おもてなしの心を形にすることができるようになる				
検定資格	なし ・ 必修 ・ 任意 名称：				
教科書 教材	ホスピタリティマインド養成ワークブック (ホロス人材開発研究所・高畑吉宏)				
授業計画	1 オリエンテーション・・・ホスピタリティとは・定義とゴールの確認、自分自身のフィードバック				
	2 ホスピタリティマインドの理解・・・ホスピタリティマインドとおもてなしの心				
	3 自己理解・自己受容・・・まずは自分を知ろう 心理学による自己分析				
	4 自己理解・自己受容・・・人との関わり方において強み弱みに気づき、自己改善に繋げる				
	5 ホスピタリティの確立・・・自己肯定感を高める プラス思考とプラスの視点				
	6 他者理解・他者受容・・・価値観とは グループ討議				
	7 他者理解・他者受容・・・自分や他者のものの見方や考え方の違いを知る				
	8 ホスピタリティの発揮・・・印象ゲーム 他者目線からの自分のイメージを知る				
	9 ホスピタリティの発揮・・・自画像と他画像の違い 第一印象の重要性 心の 4 つの窓				
	10 豊かな触れ合い・・・ストロークとは 心の栄養物				
	11 豊かな触れ合い・・・人との交流に欠かせないプラスのストローク				
	12 ホスピタリティサービスの本質・・・モノ的なサービスとヒト的なサービス CS とお客様の心理				
	13 ホスピタリティ企業のもてなしから・・・「おもてなしの心」を「形」に・・・				
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A：評価試験 85%以上、出席率 90%以上、平常点 A B：評価試験 60%以上、出席率 80%以上、平常点 B C：評価試験 40%以上、出席率 60%以上、平常点 C D：評価試験 40%未満、出席率 60%未満、平常点 D				